

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち		
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします		
施策	4	道路が安全で移動しやすいまちにします	担当部(統括部)	土木下水道部

【実現している姿】

目標	交通アクセスが良くなり、移動の利便性が向上しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	誰もが安心して快適に歩道を通行できるようになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
都市計画道路の整備率	目標	—	—	62.7%	62.7%	62.7%	63.8%	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%
	実績	62.7%	62.7%	62.7%	62.7%	76.4%					
歩道段差切り下げ解消箇所の改良率	目標	—	—	74.0%	75.0%	76.2%	76.5%	77.0%	78.0%	78.5%	79.0%
	実績	73.2%	73.8%	74.8%	75.4%	76.0%					
交通バリアフリー道路特定事業計画に基づく歩道整備の進捗率	目標	—	—	50.0%	57.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	実績	43.0%	47.0%	53.0%	73.0%	73.0%					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎鉄道による交通渋滞の解消							
阪急京都線連続立体交差により踏切の交通渋滞を解消し、市域の交通アクセスの改善をめざします。							
平成27年度事業 ◇阪急京都線連続立体交差事業11,300千円(都市計画課)							
		第5期実施計画期間				後期終了年度	
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	着工準備期間に入り、実施測量・比較設計・詳細設計等の実施、関係機関との協議	着工準備期間内での連立事業、関連側道等都市計画素案の検討、関係機関との協議	着工準備期間内での連立事業、関連側道等の都市計画案の作成、事業認可取得に向けた関係機関との協議	連立事業、関連側道等の都市計画手続き、事業認可取得に向けた関係機関との協議	連立事業、関連側道等の事業認可取得に向けた関係機関との協議	事業認可の取得後、用地買収の実施	
取組実績	大阪府など関係機関と調整し、連続立体交差事業についての地元説明会や意見交換会を開催した。						
成果	都市計画決定に向けた調査、設計に着手し、意見交換会において、沿線地域の課題や意見を抽出することができた。						
次年度課題	地域の声も踏まえ、具体的な都市計画案を作成するため、国や大阪府などの関係機関との協議や庁内調整を実施していくことが必要である。						
計画	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施	地元説明会の実施	地元説明会の実施		
取組実績	連続立体交差事業についての地元説明会や意見交換会を開催した。						
成果	意見交換会において、沿線地域の課題や意見を抽出することができた。						
次年度課題	地域の声も踏まえ、具体的な都市計画案を作成するため、国や大阪府などの関係機関との協議や庁内調整を実施していくことが必要である。						

○道路ネットワークの再構築と整備						
阪急京都線連続立体交差と併せて整備する側道や関連街路について、交通ネットワークを再構築し、地域の利便性や安全・安心の向上など、まちの発展につなげます。						
平成27年度事業	◇千里丘三島線道路改良事業0千円(道路交通課) ◇阪急京都線連続立体交差事業11,300千円(都市計画課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するため、用地取得に向けての課題検討	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	東側の歩道整備実施に向けて、事業説明及び調査等に努めた。					
成果	用地取得対象者への事業説明及び調査等の進捗を図ることができた。					
次年度課題	引き続き、整備の進捗に努めていく必要がある。					
計画	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の作成、関係機関と協議	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の実施に向けた検証、関係機関と協議	連立事業、関連側道、都市計画道路等の都市計画手続	関連側道等の都市計画手続	関連側道等の事業認可へ向けた都市計画手続	事業認可の取得後、用地買収の実施
取組実績	大阪府など関係機関と調整し、連続立体交差事業についての地元説明会や意見交換会を開催した。					
成果	都市計画決定に向けた調査、設計に着手し、意見交換会において、沿線地域の課題や意見を抽出することができた。					
次年度課題	地域の声も踏まえ、具体的な都市計画案を作成するため、国や大阪府などの関係機関との協議や庁内調整を実施していく必要がある。					
計画	地元説明会の実施、沿線自治体等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施、沿線自治体等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施	地元説明会の実施	地元説明会の実施	
取組実績	連続立体交差事業についての地元説明会や意見交換会を開催した。					
成果	意見交換会において、沿線地域の課題や意見を抽出することができた。					
次年度課題	地域の声も踏まえ、具体的な都市計画案を作成するため、国や大阪府などの関係機関との協議や庁内調整を実施していく必要がある。					

◎快適な生活道路の整備						
計画的に生活道路を整備するとともに、バリアフリー化に向けて改良を実施します。また、徒歩や自転車で移動しやすい道路ネットワークの整備に取り組みます。						
平成27年度事業	◇市内側溝改修事業10,000千円・◇転落防止安全柵設置事業5,000千円・◇道路補修事業250,000千円・◇自転車歩行者道路修繕事業10,337千円・☆別府1号線路肩補修事業35,000千円・☆市内街路灯修繕工事6,000千円(道路管理課)・◇交通バリアフリー整備事業5,000千円・◇正雀南千里丘線外2路線(阪急正雀駅前)道路改良事業5,000千円・☆自転車歩行者道路整備事業3,000千円(道路交通課)・◇新在家鳥飼上線道路整備事業94,931千円(都市計画課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施
取組実績	市内交差点部の歩道において、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などを8箇所実施した。					
成果	歩行者等の通行の安心・安全を図るため、歩道の段差解消などに努めた。					
次年度課題	引き続き、整備、解消に努めていく必要がある。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	—	—	—	—	交通バリアフリー道路特定事業計画の進捗状況の評価、見直し	
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道設置の工事実施	—	—	
取組実績	事業用地確保の円滑化のため、沿道土地所有者など関係権利者および関係機関などと協議、調整を図り用地取得に向けた交渉を行った。					
成果	事業用地取得に向けた交渉を行い、不動産鑑定評価及び物件補償算定を実施し、用地取得に至った。					
次年度課題	引き続き、沿道土地所有者など関係権利者等との協議・交渉を継続して進めるとともに、円滑な道路整備に向けて関係機関と協議、調整を進めていくことが必要である。					
計画	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得ならびに歩道の一部暫定整備	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	正雀南千里丘線外2路線の歩道整備完了
取組実績	用地取得対象所有者との用地交渉に努めた。					
成果	用地所有者と交渉を行い、整備用地を2件取得することができた。					
次年度課題	目標達成のための用地取得等を継続していく。					
計画	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施
取組実績	道路排水機能を確保するための側溝整備にあたっては、通行幅員をより広く確保できるL型側溝を原則的に設置しており、平成25年度は、千里丘地区(千里丘29号線)及び鳥飼下地区(鳥飼下32号線)でL型側溝計173.0mの整備を行った。					
成果	L型側溝を設置することにより、道路排水機能を確保するとともに、通行者の安全を確保することができた。					
次年度課題	近年のゲリラ豪雨に対し、側溝及び雨水桝の構造について十分な検討を行い工事を行っていく。					
計画	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施
取組実績	道路とその周辺の土地で段差のある場所で、かつ通行者が転落の危険性のある箇所について転落防止柵を設置しており、平成25年度は三島地区(大正川右岸2号線)の大正川と隣接する部分で転落防止柵179.0mを設置した。					
成果	転落防止柵を設置することにより、市民がより安心して道路を通行することができるようになった。					
次年度課題	市内でまだ転落防止柵の基準を満たしていない箇所の再調査が必要である。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施
取組実績	市内の道路で、舗装の老朽化によりひび割れやわだち等が発生し、車両等の通行に支障をきたしている箇所は、舗装打替え等の補修工事を行っており、平成25年度で、市内一円（新在家鳥飼上線外19路線）で延長約3.0km、面積約17981㎡の舗装の補修を行った。					
成果	舗装の補修により、車両等が安全かつ円滑に通行できるようになった。					
次年度課題	舗装や街路灯等、補修の必要な箇所が増えており、財源を確保しつつ、計画的な補修を行う必要がある。					
計画	街路灯補修工事及び街路灯点検の実施	街路灯修繕の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施
取組実績	正雀ガード下の街路灯の修繕を行うとともに、市内街路灯の点検を行った。					
成果	街路灯点検結果から、現状の施設の状況を把握することができた。					
次年度課題	平成26年度は比較的小規模の修繕に対応するが、以後は補修工事として継続的な予算措置が必要である。					
計画	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施
取組実績	国土交通省他、各関係機関との協議を行った。					
成果	平成26年度補修工事実施箇所を特定することができた。					
次年度課題	市内約9kmに及ぶ自転車歩行者道路ほ補修するにあたり継続的に予算措置が必要となる。					
計画	—	—	自転車歩行者道路整備工事の設計の実施	自転車歩行者道路整備工事の実施	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	—	路肩補修工事実施設計	路肩補修工事	—	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						

○橋りょうの改築						
老朽化が著しい橋りょうについて耐性・強度を高めるため、長寿命化に向けた改築を行います。						
平成27年度事業	◇橋梁長寿命化修繕事業79,000千円(道路管理課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	策定計画の検証に基づき、橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	国庫補助対象となる橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、実施設計及び修繕を行った。					
成果	国庫補助を受けながら実施設計3橋及び修繕1橋を実施することができた。					
次年度課題	引き続き、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、実施計画を進めていく。					
計画	—	橋梁保守点検の実施	橋梁保守点検の実施	橋梁保守点検の実施	橋梁保守点検の実施	
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

市域の特徴を生かした道路整備						
平坦でコンパクトな市域の特徴を生かして、徒歩や自転車での移動がしやすい道路ネットワークの整備を進めます。また、河川・水路が多いことから、橋りょうの安全性を高めます。						
平成27年度事業	◇千里丘三島線道路改良事業0千円(道路交通課) ◇橋梁長寿命化修繕事業79,000千円(道路管理課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	通行の安全性と利便性について、評価、検証	通行の安全性と利便性について、評価、検証	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	東側の歩道整備実施に向けて、事業説明及び調査等に努めた。					
成果	用地取得対象者への事業説明及び調査等の進捗を図ることができた。					
次年度課題	引き続き、整備の進捗に努めていく必要がある。					
計画	策定計画の検証に基づき、橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施、橋梁点検の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施、橋梁点検の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施、橋梁点検の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施、橋梁点検の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	国庫補助対象となる橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、実施設計及び修繕を行った。					
成果	国庫補助を受けながら実施設計3橋及び修繕1橋を実施することができた。					
次年度課題	引き続き、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、実施計画を進めていく。					